

## 第2回里山シンポジウムの中央総会に関して(案)

- 1、メイン会場 5月21日(土)  
会場 我孫子市民ホール 中央学院大学6号館ホール(2F) 教室4室(6F)  
アクセス 我孫子駅より徒歩15分 移動手段 バス(我孫子市提供の無料バス・板東バス)  
我孫子駅南口より、バス2台(朝2台、昼2台) 時刻等は我孫子市より後刻提示あり  
以下のように、原案を作ってみました。皆様のご意見をお聞かせ下さいますようお願い致します。

### 里山に託す私たちの未来「里山と子ども」

- 親に継承える(つたえる)昔体験... 第一案でした  
1~2行に増やす(未定)

以下の案ではいかがでしょうか。

開会 1時30分

- 開会の挨拶 里山シンポジウム実行委員会会長 金親博榮 さん(5分)
- 挨拶と基調演説 千葉県 大槻暁知事 (15分)
- 講演をお願い致します(全部で1時間程度)
  - 東京情報大学教授 原慶太郎 さん  
東京情報大学の教授であり、1ヶ年以上留学して体験したイギリスでのカントリーサイトでの生活の原体験と日本の、千葉の里山の歴史的な比較論から文明論、文化論に発展させた、ユニークな論点が注目されます。
  - 日本雁を保護する会会長(市民代表として) 呉地正行 さん  
神奈川県生まれ。現在宮城県若柳町在住。かねてから伊豆沼や蕪栗沼で、日本へ渡来する雁の保護運動に携わり、田尻町等を介して市民参画型での、自然再生運動や地域起こしを実践してこられています。  
里山やたんぼへの取り組みでは日本の第一人者です。ふゆ・みず・たんぼ(冬期湛水水田)の発端を開いた方でもあります。人を引きつける論点で、千葉県側にも柔らかい鋭い提言、里山と子ども達にも、宮城県で、実際の総合学習教材の作成も手がけ、親子での触れあいを重視しています。その経験と経過をも話して頂く。
- 各分科会での開催経過と、議論の結果及びそのまとめ報告いただきます。
  - (1)~(13) 分科会の責任者が、グループ毎にパワーポイント等を駆使して、グループごとのまとめを発表する(1時間程度)
    - 茂原市グループ(、の2分科会の共同開催)  
稲作・水田分科会 渡邊さん 出席  
生物・ピオトープ分科会 田中さん 出席
    - 東金市グループ(、の2分科会の共同開催)  
森林・林業分科会 稗田さん 出席  
竹分科会 田代さん 出席
    - 千葉市グループ(とが共同開催)

- (4) 千葉市グループ(独立して )
- (5) 鴨川(独立)
- (6) 丸山町(独立)

5 参考資料

- 1 教育・学習 : 上善 峰男
- 2 医療・福祉 : 横田 耕明
- 3 森林・林業 : 稗田 忠弘
- 4 稲作・水田 : 渡邊 英二
- 5 文化・伝統 : 加藤 賢三
- 6 観 光 :
- 7 水 循 環 : 荒尾繁志
- 8 生物・ビオトープ : 田中 正彦
- 9 子どもと健康 : 井村 弘子
- 10 芸 術 : 栗原 祐治
- 11 政 策 : 小西 由希子
- 12 食 : 遠藤 陽子
- 13 竹 : 田代 武

ここまでを、3時45分に終える。一回休憩を挟む(15分)

5 パネルディスカッション なるべく多くの時間をかける(50分)

- (1) 千葉県知事 堂本暁子 さん
- (2) 我孫子市市長 福嶋 さん
- (3) 東京情報大学教授 原慶太郎 さん

パネルディスカッション 司会

日本雁を保護する会会長 呉地正行 さん

6 質疑応答 なるべく時間を取る 10分

総合司会役 小西由起子さんか栗原祐治さん